

平成31年度 第3回 高尾警察署協議会 議事概要

開催日時 令和02年02月14日 午後03時00分～午後04時45分

開催場所 高尾警察署 署長室
出席者 協議会委員 7名
署長ほか 3名

内 容

会議に先立ち、警備課長の出席について各委員から了承を得た。

[業務説明]

- 1 協議会からの意見要望の取組結果について
平成31年度第2回会議において出された「行政と連携した運転免許証の自主返納に対する広報啓発活動を実施してもらいたい。自転車利用者に対する交通ルールの広報啓発活動を推進してもらいたい。」との意見については、他機関とも協力しながら運転免許証の自主返納を促す広報啓発活動と交通安全教室や交通講話を通じた交通事故防止対策の継続的な実施について説明した。
- 2 管内の治安情勢について
前回会議以降の、当署における事件取扱状況について説明した。
- 3 管内の警衛警備・交通情勢について
前回会議以降の、各種警衛警備等の取扱状況と、交通対策について説明した。

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

- 1 署長から協議会への説明内容
 - (1) 阪神淡路大震災の被害状況について
 - (2) 地震への備え(持ち出し袋)について
 - (3) 地震への備え(ローリングストック法)について
 - (4) 東日本大震災時の都内の主な被害状況について
 - (5) 東日本大震災発生時の駅周辺の滞留雑踏状況について
 - (6) 東日本大震災発生前後における都内の交通渋滞状況について
 - (7) 帰宅困難者対策について
 - (8) 災害時帰宅支援ステーションについて
 - (9) 震災発生時における地域住民による「自助」、「共助」の理念に基づく対応について以上を説明し、更なる取組のあり方について意見を求めた。
- 2 警察署協議会からの意見要望等
 - (1) 持ち出し袋やローリングストック法などの備蓄方法を理解し、災害に対する備え方について分かったので、他の住民にも周知してほしい。
 - (2) 改めて家族等で避難場所や通勤・通学経路に危険箇所がないかを確認したり、災害時について話し合うことの大切さを理解できたので、他の住民にも働き掛けて周知してほしい。
 - (3) コンビニやガソリンスタンドなど身近な場所に災害時帰宅支援ステーションがあり、水道水やトイレ、情報の提供を受けられることを初めて知ったので、今後、他の住民に対しても機会があることに働き掛けてほしい。
 - (4) 災害発生時には警察や消防等任せにせず、自分を助ける「自助」と他人と協力する「共助」に基づく行動が必要だということを今まで以上に周知してほしい。

[その他の意見要望等]

なし

その他

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。

平成31年度 第2回 高尾警察署協議会 議事概要

開催日時 令和01年09月25日 午後03時30分～午後05時00分

開催場所 高尾警察署 署長室

出席者 協議会委員 9名
署長ほか 3名

内容

会議に先立ち、交通課長の出席について各委員から了承を得た。

[業務説明]

- 1 協議会からの意見要望の取組結果について
平成31年度第1回会議が「高尾署の概要」の説明であったことから、今後、高尾署として管内の治安情勢に対し、どのように取り組んでいくかについて説明した。
- 2 管内の治安情勢について
前回会議以降の、当署における事件取扱状況について説明した。
- 3 管内の警衛警備、交通情勢について
前回会議以降の、各種警衛警備等の取扱状況と、交通対策について説明した。

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

- 1 署長から協議会への説明内容
 - (1) 高齢運転者に対する交通事故防止対策について
 - (2) 都内の交通事故情勢、当署管内の交通事故情勢
 - (3) 当署管内の人身事故発生件数
 - (4) 高齢者事故関与率
 - (5) 八王子市内の免許人口と高齢者の免許保有者数
 - (6) 都内の免許保有者の予測推移(75歳以上)
 - (7) アクセルブレーキの踏み間違い事故の発生状況
 - (8) 交通警察の喫緊の課題
 - ア 運転免許証の自主返納
 - イ 交通安全教育
 - ウ ハード面の改良(歩行者信号の時間調整等の道路環境整備など)
- 2 警察署協議会からの意見要望等
交通事故状況と高齢者の事故関与率について分かった。
自転車利用者に対する交通ルールの広報啓発活動を推進してもらいたい。
警察が高齢運転者に対して免許証の自主返納を促す理由が分かった。
行政と連携して免許証を自主返納するメリットについて広報啓発活動を実施していただきたい。
幼稚園や学校など通園路や通学路がある場所に積極的にガードパイプの設置を行政と連携して働き掛けてもらいたい。
歩行者用の信号機をゆとりシグナル式の信号機への変更を促進していただきたい。

[その他の意見要望等]

なし

その他

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。

平成31年度 第1回 高尾警察署協議会 議事概要

開催日時 令和01年07月04日 午後03時30分～午後05時10分

開催場所	高尾警察署 署長室	出席者	協議会委員 9名 署長ほか 2名
------	-----------	-----	---------------------

内 容

会議に先立ち、会長・副会長を互選した。

[業務説明]

- 1 協議会からの意見要望の取組結果について
平成30年度第4回会議において出された「街頭防犯カメラの有効性を自治会や町会に広め、設置促進に向けて働きかけていただきたい。業者などから防犯カメラ設置の話があれば、設置の動きも広まりやすいのではないか。」との意見については、街頭防犯カメラの設置に向けた取り組み状況と業者などに対する働きかけの推進方針について説明した。
- 2 管内の治安情勢について
前回会議以降の、当署における事件取扱状況について説明した。
- 3 管内の警衛警備・交通情勢について
前回会議以降の、各種警衛警備等の取扱状況と、交通対策について説明した。

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

- 1 署長から協議会への説明内容
 - (1) 高尾警察署の成り立ち
 - (2) 各課の業務説明
 - ア 交通課
交通安全対策の実施状況
交通安全教育の実施状況
駐車監視員活動のガイドラインについて
 - イ 警備課
武蔵陵墓地警備の状況
山岳救助隊の活動状況
テロ防止対策
 - ウ 地域課
交番、駐在所の設置状況
110番受理から現場活動の流れ
女性警察官の活動状況
 - エ 刑事組織犯罪対策課
暴力団対策
変死事案取扱状況
 - オ 生活安全課
人身安全関連事案受理状況
特異行方不明者の取扱い
特殊詐欺の発生状況
防犯カメラの設置推進状況
 以上を説明し、更なる取組のあり方について意見を求めた。
- 2 警察署協議会からの意見要望等
署長から説明があったとおり取り組んでいただきたい。
その他
 - (1) 東京2020大会を控え、交通ルールを理解せずに運転する来日外国人が増えると思われるので対応をお願いしたい。
 - (2) 車だけでなく、歩行者が事故に遭わないための教養も行っていただきたい。
 - (3) アクセル踏み間違いや逆走など、高齢者に増加している事故の発生状況を教えていただきたい。
この件について署長から高齢者事故の発生状況を説明した。
 - (4) 防犯カメラの設置にはプライバシー保護の意見を持つ方も多いので、理解を得られるように説明を続けていただきたい。

[その他の意見要望等]

委員から「交番に顔見知りの警察官がいたり、街中や店舗を巡回している姿を見ると安心できる。」との意見があった。

その他

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。

平成30年度 第4回 高尾警察署協議会 議事概要

開催日時 平成31年03月11日 午後03時00分～午後04時20分

開催場所 高尾警察署 署長室
出席者 協議会委員 7名
署長ほか 3名

内 容

会議に先立ち生活安全課長の出席について各委員から了承を得た。

[業務説明]

- 1 協議会からの意見要望の取組結果について
平成30年度第3回会議において出された「東京23区で実施されている監察医務院制度を多摩地区でも広げていただきたい。冬期における入浴時の危険性について知らしめていただきたい。」との意見については、監察医務院制度の現状とそれを補完する制度について説明し、入浴時の危険性については、協議会の意見を踏まえた当署の取組内容を説明した。
- 2 管内の治安情勢について
前回会議以降の、当署における事件取扱状況について説明した。
- 3 管内の警衛警備・交通情勢について
前回会議以降の、各種警衛警備等の取扱状況と、交通対策について説明した。

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

- 1 署長から協議会への説明内容
街頭防犯カメラ設置の現状と、その有効性・必要性について説明した上で、更なる取組のあり方について意見等を求めた。
 - (1) 当署の防犯カメラ設置状況
 - (2) 防犯カメラ設置に向けた取り組みと成果
 - (3) 防犯カメラを活用した検挙事例
- 2 警察署協議会からの意見要望等
 - (1) 町会レベルで話が進めば、設置に向けた動きも広がりやすいので、街頭防犯カメラの有効性を自治会や町会に広め、設置促進に向けて働きかけていただきたい。
 - (2) 住宅建築時に、業者などから防犯カメラ設置の話があれば、設置の動きも広まりやすいので、働きかけていただきたい。
 - (3) 防犯カメラ設置に際し、プライバシーの問題も考える必要がある。
 - (4) 設置にあたり、初期費用だけでなくランニングコストも認識する必要がある。

[その他の意見要望等]

委員から、「渋谷駅前ハロウィン暴動での防犯カメラによる事件解決には驚いた。」との意見があった。
委員から、中央線に向けた発煙筒投てき事件での事件解決経緯について質問があり、署長が防犯カメラを活用した事件解決経緯を説明した。
委員から、個人で設置する防犯カメラの画像保存期間の設定について質問があり、署長が画質設定とデータ容量の関係について説明した。

その他

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。

平成30年度 第3回 高尾警察署協議会 議事概要

開催日時 平成30年12月13日 午後03時00分～午後04時20分

開催場所 高尾警察署署長室

出席者 協議会委員 9名
署長ほか 3名

内 容

会議に先立ち刑事組織犯罪対策課長の出席について各委員から了承を得た。

[業務説明]

- 1 協議会からの意見要望の取組結果について
平成30年第2回会議において出された「テロ防止のために、DVDなどの映像を活用して広報し、知らしめていただきたい。防犯カメラの設置を広めていただきたい。」との意見については、当署の「テロ対策東京パートナーシップ」の推進状況と、管内住民に対する、防犯カメラ設置に関する推進状況について、協議会の意見を踏まえた当署の取組内容を説明した。
- 2 管内の治安情勢について
前回会議以降の、当署における事件取扱状況について説明した。
- 3 管内の警衛警備・交通情勢について
前回会議以降の、各種警衛警備等の取組状況と、交通対策について説明した。

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

- 1 署長から協議会への説明内容
警察が変死事案を取り扱う必要性和当署の取扱状況について説明した上で、更なる取組のあり方について意見等を求めた。
(1) 警察の変死事案取扱の必要性
(2) 死亡後の原因調査の流れ
(3) 当署の変死事案取扱状況
- 2 警察署協議会からの意見要望等
警察で亡くなった方を取り扱う理由が理解できた。
死亡原因で風呂場での死亡が多いことを初めて知った。
風呂場での死亡者数が、交通事故死亡者の10倍にも上ることに驚いた。
高尾山での滑落や自殺など、高尾署独自の死亡原因があることが分かった。
高尾山などでは、自殺を含め、防犯カメラが原因解明にも役立っていることが分かった。
東京23区で実施されている検視官制度について理解できたので、多摩地域でも運用を広げていただきたい。
司法解剖・行政解剖等について、知らなかった内容も理解できた。

[その他の意見要望等]

なし。

その他

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。

平成30年度 第2回 高尾警察署協議会 議事概要

開催日時 平成30年09月25日 午後03時00分～午後04時30分

開催場所 高尾警察署署長室
出席者 協議会委員 9名
署長ほか 3名

内 容

会議に先立ち、警備課長の出席について各委員から了承を得た。

[業務説明]

- 1 協議会からの意見要望の取組結果について
平成30年度第1回会議において出された「自転車に対し、事故に遭わないための教育だけでなく、加害者にならないための教育を行っていただきたい。子供だけでなく、大人にも自転車のヘルメット着用について啓発していただきたい。」との意見については、当署の交通安全教育や啓発活動の推進状況と、協議会の意見を踏まえた当署の取組方針を説明した。
- 2 管内の治安情勢について
前回会議以降の、当署における事件取扱状況について説明した。
- 3 管内の警衛警備・交通情勢について
前回会議以降の、各種警衛・警備の取組状況と、交通対策について説明した。

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

- 1 署長から協議会への説明内容
東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けたテロ防止対策について説明した上で、更なる取組のあり方について意見等を求めた。
(1) 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の概要と過去のテロ対策
(2) 過去の爆発物事件等
(3) テロ防止対策
(4) テロを防止するための通報
- 2 警察署協議会からの意見要望等
民泊が増えることで、テロの可能性も増えるように思われる。
テロの標的として、高尾山などは知名度があり狙われる可能性があるのではないか。
町内会のパトロールや市役所の青灯パトロールなど、地元の防犯意識が高い地域ではテロもやりにくいのではないか。
今後はドローンを使用したテロも考えられる。
「防犯カメラ設置のステッカーなどは効果があるか」との質問があり、署長が有効性と当署の取り組みについて説明した。
防犯カメラ設置のステッカーなどにも多言語の表記があると効果があるのではないか。
防犯カメラの有効性が認識できたので、防犯カメラの設置を広めて行っていただきたい。
「一般市民がテロ防止のためにすべきことは何か」との質問があり、署長が通報の重要性・必要性について説明した。
通報の必要性は理解したので、不審物件をどう判断したらいいのか教えていただきたい。
テロ防止のために、DVDなどの映像を活用して広報し、知らしめていただきたい。

[その他の意見要望等]

なし。

その他

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。

平成30年度 第1回 高尾警察署協議会 議事概要

開催日時 平成30年06月19日 午後03時00分～午後04時35分

開催場所 高尾警察署署長室
出席者 協議会委員 9名
署長ほか 3名

内容

会議に先立ち、交通課長の出席について各委員から了承を得た。

[業務説明]

- 1 協議会からの意見要望の取組結果について
平成29年度第4回会議において出された「若手警察職員が研修を受ける上で勤務面も面倒を見てあげていただきたい。若手警察職員も駐在所員のように地域住民とふれあえる機会を作っていただきたい。」との意見については、当署のワークライフバランスの推進状況と取組方針を説明した。また、地域住民とのふれあいについては、ふれあい連絡協議会や地域の清掃活動などの実施状況について説明した。
- 2 管内の治安情勢について
前回会議以降の、当署における事件取扱状況について説明した。
- 3 管内の警衛警備・交通情勢について
前回会議以降の、各種警衛・警備の取組状況と、交通対策について説明した。

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

- 1 署長から協議会への説明内容
交通事故状況と対策について説明した上で、更なる取組のあり方について意見等を求めた。
 - (1) 交通事故発生状況
 - (2) 交通事故防止対策
 - ・ 事故発生現場の対策について
 - ・ 交通安全啓発活動について
 - ・ 交通違反重点取締場所の説明と意見聴取
 - ・ 取締り活動ガイドラインの説明と意見聴取
- 2 警察署協議会からの意見要望等
事故発生現場で、事故が起きないように対策をたてていることが分かった。交差点に白バイがいると、通行車両が慎重な運転をするので、このまま続けていただきたい。
自転車に対し、事故に遭わないための教育だけでなく、併せて、加害者にならないための教育も行っていたいただきたい。
子供だけでなく、大人にも自転車のヘルメット着用について啓発していただきたい。
高齢者の事故防止のためには、免許証の返納とその代わりとなる対策の推進が必要である。
自転車ナビマークがあっても、道路が狭い場所があるので注意しなければならない。

[その他の意見要望等]

- 1 委員から「最近も飲酒検問は行っているか」との質問があり、署長が飲酒運転と取締りの現状について説明した。
- 2 「高齢者による重大事故の発生はあるか」との質問があり、管内の発生状況を説明した。
- 3 委員から「地域で高齢者世帯を訪問する際に、警察官の立ち合いができるか」との質問があり、署長が必要性及び要件について説明した。

その他

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。

平成29年度 第4回 高尾警察署協議会 議事概要

開催日時 平成30年03月14日 午後02時00分～午後03時40分

開催場所 高尾警察署署長室
出席者 協議会委員 8名
署長ほか 3名

内容

会議に先立ち、地域課長の出席について各委員から了承を得た。

[業務説明]

- 1 協議会からの意見要望の取組結果について
平成29年度第3回会議において出された「特異行方不明事案に関し、座間の事件のよう
に誠実に対応して頂きたい。また、行政機関など他機関とも連携を図り、危険性を
周知する働き掛けをしていただきたい。」との要望については、当署の相談受理に関す
る体制及び警察と八王子市が連携する施策について説明した。
- 2 管内の治安情勢について
前回会議以降の、当署における事件取扱状況について説明した。
- 3 管内の警衛警備・交通情勢について
前回会議以降の、各種警衛・警備の取組状況と、交通対策・交通事故発生状況につい
て説明した。

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

- 1 署長から協議会への説明内容
若手警察職員の育成について説明した上で、更なる取組のあり方について意見等を求
めた。
- 2 警察署協議会からの意見要望等
若手警察職員に様々な教養を行い、その習得状況についても把握していることが分
かった。
若手警察職員にも、駐在さんのように地域住民と触れあえるような機会があれば良
いと思う。
若手警察職員の自主性を尊重して、研修を受けているのが分かったが、休日を利用
するだけではなく、勤務面でも面倒を見てあげて貰いたい。
自主的に研修を受けたか否かが、勤務上の評価に影響を与えないようにし
てあげていただきたい。
若手警察官から声を掛けられると、同年代の若い人も親しみを感じるので、多くの
関わりを持っていただきたい。

[その他の意見要望等]

- 1 委員から「署長の前任所属である航空隊の話聞いて、どの様な活動をしているの
か初めて分かった。」との意見があった。
- 2 委員から「警察官の離職者は多いのか。」との質問があり、署長が他県の状況も踏
まえて当庁の離職者の現状について説明した。
- 3 委員から「他県警との交流はあるのか。」との質問があり、署長が人事交流制度の
現況について説明した。

その他

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧する
ことができます。